

令和4年度 香南市社会科副読本「香南の暮らし」テストワーク執筆・編集要項

1 テストワーク作成の目的（趣旨）

- (1) 学習指導要領に準拠したテストワークを作成することを通して、指導と評価の一体化を図る。
- (2) テストワーク作成過程を通して、学習評価の在り方について理解を深め、学習や指導の改善に生かす。
- (3) 小学校社会科の教材理解を深めることを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを推進する。



2 基本方針

- (1) 学習指導要領や教科書に準拠する。
- (2) 副読本「香南の暮らし」第四版に沿った内容にする。
- (3) 児童の発達段階を考慮し、分かりやすい表現を取り入れる。
- (4) 「知識・技能」に関する設問は採点化し、基礎・基本を重視した選択解答を基本とする。
- (5) 「思考・判断・表現」に関する設問は採点化し、選択解答と記述解答を併用して作成する。
- (5) 「主体的に学習に取り組む態度」に関する設問は採点化せず、記述解答とし、評価材料の一つとする。

3 テストワーク執筆・編集・作成上の諸注意（原則）

【会の持ち方】

- ・問題の難易度を調整するために、副読本編集委員世話役が、各テストワークを検討するための会を開催する。

【テスト実施回数】

- ・テストは単元毎に行い、各学期の最後にはまとめのテストを行う。

【内容について】

- ・各単元の基礎的・基本的内容を重視し、正答率8割を目安として作成にあたる。
- ・○×問題は、どちらともとれるような紛らわしい表現は避ける。
- ・テスト実施は、単元毎に行い、各学期の最後にはまとめのテストを入れる。

※各観点を左側に赤字で明記する。（児童用は黒字）

- ・表面に（知識・技能）の問題を配列する。
- ・配点は、1問10点を基本とするが、設問内容によっては、5点配点も可とする。
- ・（思考・判断・表現）の問題を裏面とし、空いたスペースに（主体的に学習に取り組む態度）にかかわる問題を入れる。

(表面)

【知識・技能】 (10×10 問)

(裏面)

【思考・判断・表現】 (10×5 問)
【主体的に学習に取り組む態度】

(学期末・学年末テスト)

(表面)

【知識・技能】 (10×5 問)
【知識・技能】 (10×5 問)

(裏面)

【思考・判断・表現】 (10×5 問)

- ・各校で使用するワークになるため、内容については、「香南のくらし」から引用した内容とし、極めて特別なも設問は避ける。誰でもが活用できるテストワークを目指す。

【ルビについて】

- ・漢字は、各学年で習う漢字までを使用し、該当学年で習得する漢字には、すべて（2回目以降も）ルビをふる。また、固有名詞などで習っていない漢字を使用する場合は、ルビをふる。さらに、必要であると思われる漢字にも、ルビをふる。（ルビについては必ず副読本での記載を確認する。）
- ※副読本における記載内容を訂正する必要がある場合は、事務局まで連絡をお願いします。

【書き方】

- ・テストワーク案を参考にする。
- ・大きな設問の字体はMSゴシックを 本文は、UD デジタル教科書体を使用する。
- ・文章の長さによって読み取りにくいときは、読点または半角スペースをあけ、見やすくする。
- ・読点はコンマ（,）を使用する。
- ・テスト問題の文章中に使う四角形や括弧、丸囲み文字などは、テストワーク作成用基本パーツを使用する。
※学校共有フォルダ→交換用フォルダ→令和4年度社会科副読本等編集委員会
- ・図・写真等を貼り付ける際は、「香南のくらし」PDF から編集する。（スナップショット→範囲指定→OK→貼り付け）
- ・副読本キャラクターを貼りつけたい場合は、「香南のくらし」PDF から貼りつける。
- ・表裏を使用可。（A3 サイズ）
- ・大・中設問の文体は、敬体で統一する。（～です。～ましょう。等）
- ・小設問は内容に合わせて、敬体と常体を使い分ける。
- ・グラフや図がある場合は左側へつめる。（見やすさへの考慮）
- ・61行（※まとめのテスト等、行数が足りない場合は、変更あり）
- ・フォントサイズは、基本14ポイントとする。

【問題形式】

- ・作成済みの「香南のくらし」、市販のテストワークを参考にして、○×問題や、線でつなぐ問題、穴埋め問題、記述式問題等、いろいろな問題形式を採用する。
- ・1枚の中には、資料（図表・写真・統計等）を1つは入れるようにする。
- ・文章で答える問題（思考力・判断力・表現力）をできるだけ入れるようにする。
例：～の理由を○○という言葉を使って書きましよう。 次の文章に続けて（ ）に書きましよう。
どうして○○をする必要があるのか考えて書きましよう。
次の話の続きを2つの言葉（○・○）を使って書き、文章を完成させましよう。等
- ・「思考・判断・表現」に関する設問には、学習指導要領にそった記述解答の設問を必ず設ける。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」に関する設問は裏面最後に設ける。

【配点について】

- ・表面（知識・技能）10点×10問を基本とする。
裏面（思考・判断・表現）10点×5問を基本とする。
- ・主体的に学習に取り組む態度は点数をつけない。

【解答用について】

- ・解答は赤字で記入する。
- ・赤字で観点（知識・技能）（思考・判断・表現）を各テストの左側に記入する。
- ・解答が多岐にわたる場合には、許容範囲を明確に示す。

【その他】

- ・児童用と解答用の2パターンを提出する。
- ・必要に応じて、世話役会または事務局が体裁を整える。
- ・テストワークは教科書採択に合わせて4年に一度改訂する。